

水田畦畔抑草剤の使用法

水田畦畔抑草剤ビスピリバックナトリウム塩液剤（商品名：グラスショート液剤）は、畦畔雑草の生育を抑制し、草刈りなどの畦畔管理を軽減できる。また、畦畔を裸地化させず、土壌流亡を生じない。

表1 使用基準及び適用雑草

	適用雑草	使用方法	使用時期	使用薬量	希釈水量	使用回数の制限
水田畦畔	一年生雑草 及び 多年生雑草	雑草茎葉散布	草刈り後10～20日の 雑草再生期（ただし水 稲の収穫60日前まで）	500ml/10a （実散布 面積）	100 L	2回
適用雑草	イネ科雑草		広葉雑草		抑草期間	
	1年生	多年生	1年生	多年生		
枯 殺	スズメノテッポウ スズメノカタビラ		ハコベ、ナズナ、シロザ アオビユ、クサネム、 イボクサ、ブタクサ	シロツメクサ、クズ、 オオバコ、カラムシ エゾノギシギシ	40～60日ほど 抑草効果が得ら れることから、 1回の散布で 約1回刈り払い 機等による除草 作業が省ける。	
抑草大	ノビエ、エノコログサ メシバ、アゼガヤ カズノコグサ	チガヤ、オギ、ススキ、 キシウスズメノヒエ、 アシカキ、ギョウギシバ	オオイヌタデ、ツユクサ ヒメムカシヨモギ、 オオアレチノギク、タウ コギ、ハルジョオン	ヨモギ、スギナ、イタ ドリ、ハマスゲ、セイ タカアワダチソウ、 ヨメナ		
抑草小		ノシバ、ウィーピング ラブグラス、カモジグサ				
不 効	オヒシバ、カラスムギ	イタリアンライグラス	タネツケバナ			

使用方法

抑草効果を安定させるため、雑草の刈り取り後、再生初期（草刈り10～20日後、草丈10cm程度）に散布する。散布量は、散布実面積10a当たり薬液500mlで、100%の水に希釈する。散布は、噴霧機（動力噴霧機等）により、霧なしノズル等を用い、雑草全体に均一にかかるように散布する。

使用上の注意

展着剤の加用は必要ない。

散布後6時間以内の降雨は、効果を減ずることがあるので、天候に注意する。

流入、飛散による周辺作物への影響に注意する。特にドリフトにより水稻に直接かからないようにする。マメ科、ウリ科、アブラナ科の作物には薬害が強い傾向がある。



写真1 グラスショート散布区

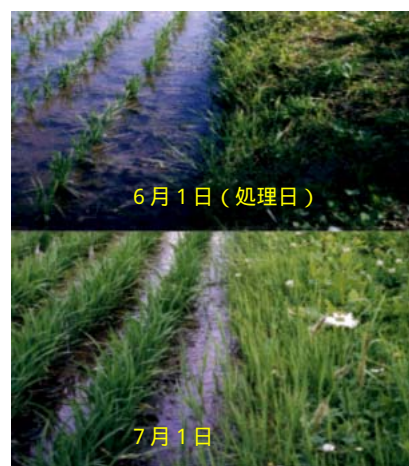


写真2 無処理区